

<学部用>

授業科目 介護実習指導Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	社会
岡田 史、大槻美智子 宮下榮子 渡辺敏文	開講時期	前期	必修・選択	介護福祉コース必修選択
	単位数	2	時間数	30

<一般目標：G I O>

介護実習の意義と目的を理解し、介護実習Ⅰにおける実習目的・実習目標を学ぶ。

<行動目標：S B O>

- 1、実習施設の理解が深まる。
- 2、施設職員の業務及び役割を理解する。
- 3、実習における自己課題を設定する。
- 4、実習における態度・倫理等を学び、学習への心構えを確立する。
- 5、利用者のプライバシーに関する注意や、関連する法律について理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	※SBO番号欄は該当する行動目標(SBO)の番号を記入して下さい。(必要に応じ縦線を引いて下さい。)	
		SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション		演習
2	実習施設の概要		演習
3	施設の理解(他職種とのチームワークについて理解)		演習
4	実習目標の立て方、自己課題の明確化について		演習
5	実習目標・実習計画の策定方法について		演習
6	実習記録の書き方		演習
7	実習記録の記述訓練		演習
8	介護職員の業務		演習
9	他職種の理解と連携のあり方		演習
10	オリエンテーション時・実習時の心構え		演習
11	実習生及び介護専門職としての自覚		演習
12	施設生活者の理解と尊厳、プライバシーについて		演習
13	利用者とのコミュニケーションについて		演習
14	実習第一段階に向けて実習指導の振り返り		演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	中央法規出版 岡山県介護教育研究会 介護福祉演習ノートⅠ「介護福祉活動における基本技術」			
参考書	必要時推薦します。			
その他の資料	随時配布いたします。			

【評価方法】 出席および授業態度 試験	【履修上の留意点】 演習が中心なので、授業を聞くというのではなく、授業に参画するという気持ちで出席してください。
---------------------------	---